比布町地域おこし協力隊通信

比布町で活動する地域おこし協力隊の皆さんを紹介します。

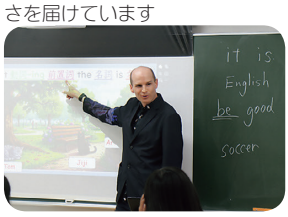
協力隊特集 VOL.7

英語を「楽しい」に変える先生

スミス ケーシー さん

比布中央学校で子どもたちに英語の楽しさを届けています





会計の仕事から、教育へ

アメリカ・ワシントン州シアトル出身のケーシー先生。大学で会計を学び、アメリカの企業で12年間、会計の仕事に携わってきました。残業や出張で忙しい毎日の中でも、好きだったのが新入社員への研修です。仕事の仕組みや会計のルールを伝えるうちに、人に教えることに楽しさを感じるようになりました。また、以前から日本に関心があり、日本語や文化を学ぶ中で「日本に住んで、教育の仕事がしたい」という思いが芽生えました。韓国で英語を教えた経験を経て、現在は比布町で子どもたちの英語学習を支えています。

子どもたちと、良い経験を

現在は比布中央学校の7～9年生を中心に、英語の授業で担当教員をサポートしています。新しい単語や正しい発音を伝えるほか、英語を読む力を育むことも大切にしています。「子どもたちはとても優しいです」と話すケーシー先生。前期課程の授業にも参加したり、休み時間に子どもたちと話したりと、学年を越えた交流もあります。英語を教えるだけでなく、「子どもたちと一緒に良い経験を積み重ねていきたい」と話します。

スポーツやお祭りで広がる交流

今年はミニバレー大会や、夏のお祭りの神輿担ぎにも参加しました。神輿は体力的に大変だったそうですが、みんなで力を合わせて担ぐ楽しさを味わい、「来年も参加したい」と話します。毎週土曜日の夜にはミニバレーにも参加。町民の皆さんから、おいしいお店や町のイベントを教えてもらう機会にもなっています。球技は少し苦手でも、挑戦する気持ちはいっぱい。スポーツを通じて、地域の人たちとのつながりを深めています。

自然も食も、比布の魅力を満喫

お気に入りの場所は比布川沿い。散歩やジョギング、サイクリングをしながら、自然を眺めたり写真を撮ったりして過ごします。ハイキングも好きで、冬にはスキーやスノーシューも楽しみます。比布の食も暮らしの楽しみの一つ。夏にはいちご狩りを体験し、給食で食べた新米も「とてもおいしい」と話します。町のお店ではブルズキッチンがお気に入り。お店の数が少ないことも、選択肢が絞られて迷わず選べる良さとして受け止め、比布での暮らしを楽しんでいます。

気軽に声を

「これからも子どもたちや同僚の先生と良い思い出をつくり、地域のイベントにも参加して、多くの町民と交流したい」と話すケーシー先生。「比布はとてもいい町。イベントで見かける皆さんの笑顔がすてきで、長く住みたいと思います。まちで会った際は気軽に声をかけてください。」とメッセージをくれました。







